

105-333

問題文

下記のそれぞれの事例の薬物治療のうち、禁忌に該当するのはどれか。2つ選べ。

1. 便秘症の妊婦に酸化マグネシウムを投与する。
2. 牛乳アレルギー患者にタンニン酸アルブミンを投与する。
3. 消化性潰瘍がある患者にラフチジン投与する。
4. 重症筋無力症の患者にエチゾラムを投与する。
5. インフルエンザ罹患の15歳男児にザナミビル水和物を投与する。

解答

2, 4

解説

選択肢 1 ですが

酸化マグネシウムは、制酸、緩下薬です。妊婦へも問題なく用いることができます。

選択肢 2 ですが

タンニン酸アルブミンについて、タンパク質部分が牛乳由来のタンパク質を含みます。牛乳アレルギーのある患者に禁忌です。

選択肢 3 ですが

ラフチジンは H₂ ブロッカーです。胃潰瘍等に用いられます。

選択肢 4 ですが

エチゾラムは Bz（ベンゾジアゼピン）系精神安定剤です。筋弛緩作用を有するため、重症筋無力症の患者には使用禁忌です。

選択肢 5 ですが

ザナミビルは、ノイラミニダーゼ阻害薬です。抗インフルエンザウイルス剤の一種です。成人及び小児に用いられます。

以上より、正解は 2,4 です。